長崎医療センター
NAGASAKI MEDICAL CENTER NEWS

専齋 SENSAI

2022 FEBRUARY VOL.399

発行所
独立行政法人国立病院機構
長崎医療センター
〒856-8562
長崎県大村市久原2丁目1001-1
TEL 0957-52-3121
FAX 0957-54-0292



大村市の公式マスコットキャラクターのおむらんちゃんと初コラボしました！
おむらんちゃんが思ったより大きくてびっくりしたヘリドッグ太くんでした。

診療科紹介 update
Vol.22 病理診断科

TOPICS
・新任医師紹介
・OSCEを終えて
・SGH財団受賞報告
・オンライン資格確認の運用開始

春の医学生見学会のお知らせ
第7回 がんフォーラムのお知らせ
市民公開講座のお知らせ
“長與専齋と大村の藩医”に行ってきました。
診療放射線部だより Vol.4
看護部だより Vol.38
医療相談支援センターからのお知らせ

長與 専齋（1838年～1902年）
大村藩御殿医の家系に生まれる。緒方洪庵の適塾に学び、福澤諭吉の後を襲い塾頭となる。初代衛生局長として我が国の近代医療制度の確立に尽力した。衛生という言葉をはじめて採用したのも専齋である。専齋の生家は「宜雨宜晴亭」と呼ばれ、長崎医療センター敷地内に移築されている。

診療科紹介 Update

Vol.22



病理診断科

病理診断科について

患者さんの体より採取された病変の組織や細胞を顕微鏡で観察して診断するのが病理診断で、適切な治療のために大きな役割を果たします。当院は日本病理学会認定施設、日本臨床細胞学会教育研修認定施設に指定され、スタッフは日本病理学会専門医と日本臨床細胞学会専門医資格を有しています。

現在、病理診断科は3名の常勤病理医、2名の病理レジデント、5名の臨床検査技師（細胞検査士4名）で病理診断、病理解剖、臨床研究を行っています。主な病理の業務内容は(1)細胞診断、(2)生検組織診断、(3)手術で摘出された臓器・組織の診断、(4)手術中の迅速診断、(5)病理解剖、(6)臨床との合同カンファレンス、院内、医師会CPCの主催などです。

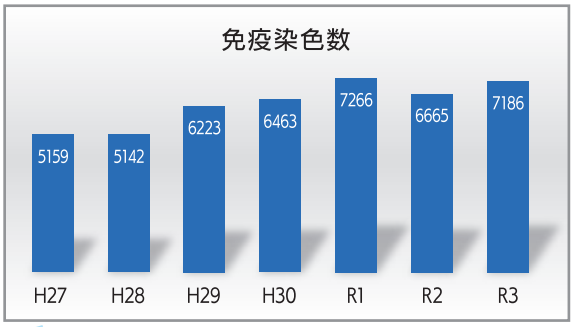
病理診断は最終診断として治療方針の決定に重要な役割を担っています。当院では細胞診、組織診とも全例複数の医師でダブルチェックを行い、診断精度の向上と良質な医療の提供を心がけています。

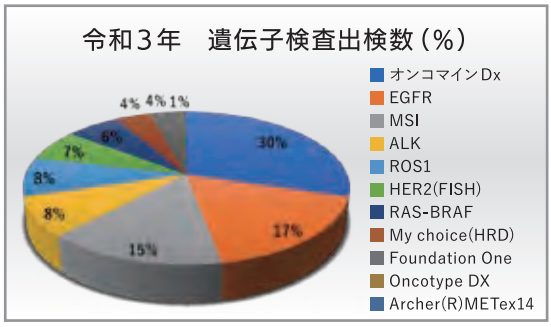
標本を顕微鏡で観察するのが，病理検査の中核的作業ですが、病理診断には判断が難しい症例が少なくありません。このような場合は国立がんセンター、日本病理学会、九州支部のコンサルテーションシステムなどに積極的にコンサルテーションを依頼しております。また、患者さんが他の施設から転院して来こられる場合，病理診断がついていることがあります。そのような場合は、できる限り前の病院から標本をお借りし，当院で診断を確認するように努めています。また、患者さんが当院から他施設へ移られるときには、プレパラートをお貸しして次の施設での判断を仰ぐようにしています。

診断実績	組織診断	細胞診断	術中迅速診断
令和３年	5,488	6,095	334
令和２年	5,701	5,917	329
令和元年	5,978	6,157	313

患者さんの治療法決定のために

近年はがん診療の発達で、病理検体を用いた生物製剤やホルモン受容体薬の選択の為の免疫染色検査やがんゲノムパネル検査を含む遺伝子検査が急増しています。これらの検査の大部分は自施設で実施され、迅速なデータの提供を実践しています。また、手術中に迅速組織診断を行い、病変の性状の診断や切除断端における評価を行い、手術方針の決定にも役立っています。がん診療検討会にも病理医が参加し、がん診療の重要な役割を担っています。



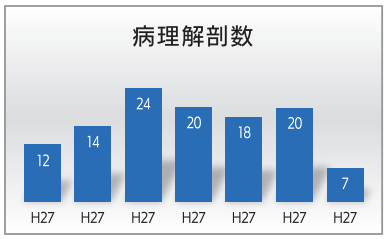


病理解剖とCPCについて

病理解剖は亡くなられた方の死因や病気の成り立ちを明らかにするために行われます。死体解剖保存法に基づき、病理解剖を行い、解剖所見、臨床経過、各種検査データを総合的に検討し、剖検診断を行います。全国的に減少傾向にある剖検は、本施設も新型コロナウイルス流行を受け、昨年の20体から減少しましたが、研修医教育を兼ねたCPC（ClinicoPathological Conference 臨床病理検討会）は例年通り年5回実施しています。病理解剖と院内CPCは重要な教育的意義を持っており、様々な科の担当臨床医、病理執刀医、そして直接症例に関与していない医療従事者が一堂に会し、発表・討論を通じて症例を共有するCPCは、全ての医師にとって重要な医療の質の検証の場となっています。







ISO15189認定検査施設

当病理診断科（及び臨床検査科）は、国際規格である「ISO 15189(臨床検査室-品質と能力に関する特定要求事項)」の認定を取得しています。九州の国立病院機構の病院で、ISO15189の認定を受けている病院は、九州医療センター、九州がんセンター、長崎医療センターの3病院のみです。要求事項に基づき、業務施行・管理運営・評価・教育等を行っており、病理検査試料を用いた遺伝子パネル検査などの次々と新規導入される検査法に耐えうる検査の質の確保に繋がっています。長崎県の中核病院としての役割を担う上で、医療の質の向上に寄与すべく、正確で迅速な診断を心掛け努めて参ります。

TOPICS

新任医師紹介



外科医師
福井（ふくい）　彩恵子（さえこ）

令和4年1月より外科に赴任しました福井彩恵子と申します。長崎大学病院での外科修練後、育児等あり長らく臨床を離れておりましたが、この度復職する形でご採用いただきました。日々あたたかいお声掛けとサポートをいただく職員の皆様方に心より感謝申し上げます。新しい環境で身の引き締まる思いですが、一日も早くより成熟し、良い医療を提供できるように尽力いたしたい所存です。今後ともよろしくお願いいたします。

TOPICS

OSCEを終えて

二年次研修医　成松 隆

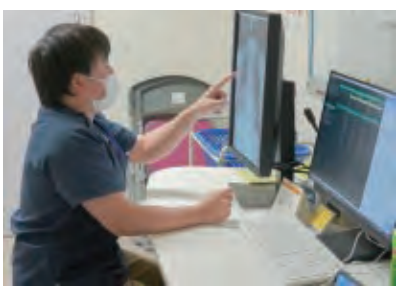


2022年1月29日 私たち二年次研修医はOSCE（客観的臨床能力試験）を受けました。試験科目は診察、心電図、胸部レントゲン、外科処置、心肺蘇生（ACLS）であり、コロナ流行下で感染対策を取りながらの試験勉強を皆協力して頑張ってきました。

私たちの学年は医学生の時、臨床実習前に全国共通試験としてOSCEの合格が必要で、大学によっては卒業試験としてPost CC OSCEの受験が導入されており、今回のOSCEを懐かしく感じたり、嫌な記憶が思い出された人もいたのではないでしょうか。私自身は当日はかなり緊張していて、OSCEに対して思いを馳せる余裕はありませんでしたが、終わってみると自分の足りない点が多く、もっと精進していかなければならないと気づかされる試験でありました。各試験の終了後に担当の先生方からフィードバックしていただき、大変ありがたかったです。おかげさまで、何とか皆で乗り切ることができました。

最後にはなりますが、朝早くからご協力してくださった先生方、教育センターの方々、一年次研修医の皆様にこの場を借りてお礼申し上げます。残り僅かな研修医生活ではありますが、各員自分の将来に向かって努力を積んでいきますのでこれからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。







TOPICS

SGH財団受賞報告

手術看護認定看護師　原 健太朗



この度、研究課題名「全身麻酔下下部消化管腫瘍手術において術中手術台ローテーションが上下肢潅流指標に及ぼす影響」が、第3回SGHがん看護研究助成に選出されたことを報告します。

手術を受ける患者には、手術部位・術式・麻酔方法によって、最適な手術体位固定を行う必要があります。しかし、同時に、手術後には手術体位に伴う様々な合併症を発症するリスクを伴います。当院においても、過去に下部消化管腫瘍手術後にWell leg compartment syndrome (WLCS) を発症し、減張切開による圧開放を行った経験があります。そのため、医療チームによる協議を行い、5つの介入によりWLCSの発症予防を実現しました。しかし、客観的データとして介入による血液潅流の変化や下腿圧の減少など、その裏付けとなるエビデンスが不足していることが研究課題として残りました。そこで本研究では、「手術台ローテーション」に着目し、術中手術台ローテーションが上下肢の血液潅流に及ぼす影響を明らかにすることを目的としました。

本研究実施により、下部消化管腫瘍手術を受ける患者にとって、エビデンスのあるWLCS予防の確立に繋がると考えています。

TOPICS

オンライン資格確認の運用開始

経営企画係長　須股 豊智





令和3年10月20日より、オンライン資格確認の本格運用が始まりました。オンライン資格確認とは、**患者さんが医療機関を受診する際に保険証の代わりにマイナンバーカードを用いてオンラインにて資格確認をする制度**となっております。これまでは受診される際に保険証が必要でしたが、顔認証付きカードリーダーにてマイナンバーカード IC を読み込ませることにより資格情報の確認ができるようになります。長崎医療センターでは、令和4年3月14日より運用開始します。オンライン資格を行うことで患者さんの利便性の向上や、導入の際に患者さんが戸惑うことが無いよう院内で計画を立てております。

春の医学生見学会のお知らせ



本年度の春の医学生見学会ですが、まん延防止等重点措置の解除の場合に開催致します。

そのため、開催時期・応募受付時期が変更となる可能性がございます。ご了承ください。

スーパーローテート50年の歴史。
1000名以上の研修医を育てた
実績を持つ長崎医療センターの
『教える伝統』を体験ください。



【対　　象】　医学部4・5年生

【見 学 期 間】　**2022年3月8日(火)～3月23日(水)**
※火曜～金曜日

【募集学生人数】　1日に5名程度。

【応 募 期 間】　3月1日(火)より受付開始

【申 込 方 法】　当院ホームページ(http://nagasaki-mc.hosp.go.jp/)をご覧ください。

第7回 がんフォーラムのお知らせ

本年度のがんフォーラムは、オンデマンド配信（録画）でWeb開催といたします。

今回は2人の講師が「子宮頸がんワクチン」と「がんってなあに??～正（ただ）しく“がん”を知（し）ろう～」を配信します。当院HPを検索、もしくは下記QRコードをカメラで読み取り、ぜひアクセスくださいませ。当院マスコットキャラクターのヘリドッグ太くんも登場します！

視聴無料

2022年 3月1日(火)～3月31日(木)







視聴方法

パソコン
検索
長崎医療センター

スマートフォン
タブレット

- ●各講演の動画をご視聴いただくには、パソコン、スマートフォン、タブレット端末からアクセスしてください。
- ●視聴は無料ですが、視聴するにあたり通信料がかかります。
- ●通信料はご視聴いただく方のご負担となりますので予めご了承ください。

「難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究」PBC分科会・独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター

市民公開講座のお知らせ

Web開催
事前申し込み不要

『原発性胆汁性胆管炎（PBC）とは』

“聞きたかったこと と 聞けなかったこと”

講師 長崎医療センター
臨床研究センター難治性疾患研究部長　小森敦正

2022年3月より配信開始



視聴方法と注意事項

- ●ご視聴は、パソコン・スマートフォン・タブレット端末でも可能です。
- ●視聴無料ですが、視聴には通信料がかかります。
  通信料はご視聴いただく方のご負担となりますので予めご了承ください。
- ●4月以降もYouTubeでご覧いただけます。

大村市下水道共用開始40周年記念事業　歴史資料館企画展

“長與専齋と大村の藩医”に行ってきました。

当院には、大村市ゆかりの医療者であり、日本の衛生学の基礎を作られた長與専齋の生家が敷地内に保存されており、関連資料を保有しております。

大村市の下水道の共用 40 周年記念事業の企画展（2 月 20 日まで開催）に伴い、当院所蔵の資料、当院名誉院長矢野先生ご所蔵の資料も出品させていただきました。









大村が生んだ医療制度の先覚者
長與専齋

1838年　肥前（長崎県）大村に生まれる。
11才のとき、藩塾五教館に入り漢学を修める。

1854年　大阪に行き、緒方洪庵の蘭学塾適塾に入門し、蘭学を修める。
1858年には塾頭となる。

1860年　帰郷する。

1861年　長崎に行き精得館に入門し、オランダの医者ポンペについて医学研究を始める。

1864年　再び帰郷し、大村藩の侍医となる。

1866年　再び長崎に行き、ボードゥイン、マンスフェルトについて医学を修める。

1868年　長崎医学校学頭となる。

1871年　文部省に入り、岩倉大使一行の文部理事官随行として欧米に渡り、医学教育、医事行政について視察する。

1873年　帰国して文部省医務局長となる。医政76条を草案。

1875年　東京医学校長となる（東京大学医学部の前身）。

1878年　内務省衛生局長となる。
輸入薬品の検査をするために司薬場を設け、牛痘種継場をたてて、牛痘苗の絶滅を防いだ。
コレラ予防のために予防策を通達し、海港検疫伝染病の予防規則を布告し、1890年に上水・下水の衛生工事を計画した。

1891年　内務省衛生局長を辞す。

1892年　中央衛生会会長となる。

1901年　大日本私立衛生会会頭に推される。

1902年　没



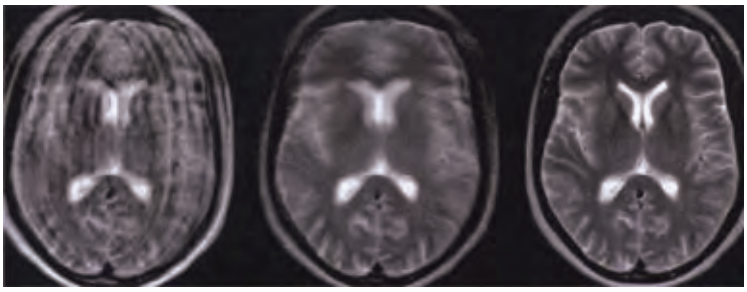
長與専齋
旧宅



診療放射線部だより Vol.4

新しいMRI装置について

令和3年12月27日より1.5T MRI装置（フィリップス社製 Ingenia 1.5T）が稼働いたしました。送受信コイルの完全デジタル化が特徴です。このため、従来に比べ、より鮮明な画像を得ることが可能となりました。また高速撮像技術も進歩しており、検査時間や息止め時間が短くなり、患者の負担軽減につながります。さらに体動や金属によって生じるアーチファクトを軽減する技術も搭載しており、いままで撮像が難しかった体内金属付近や体動がある患者の撮像に対応できるようになりました。装置の開口径も従来より広い直径70cmとなり、圧迫感が少なく開放的で、狭いところが苦手な患者や小児、体格が大きい患者にも優しい環境となっております。



体動補正無し　体動補正（従来）　体動補正（現在）



MRI装置　Ingenia 1.5T

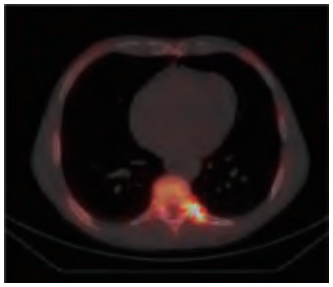
［画像：株式会社 フィリップス・ジャパン提供］

新しい核医学装置について

令和4年1月11日よりGE社製 SPECT-CT装置（核医学）NM/CT860が稼働いたしました。体内に診療用放射性同位元素を注射し、体外へ放出される放射線を検出器で画像化するガンマカメラという装置に、診断用8列CT装置を一体化させた複合装置です。CT装置で得られる画像をガンマカメラの画像に重ねることにより、病変部が体のどこに存在するかが明確に判別することが可能となるため、存在診断の質が向上します。さらに、放射線の集積の程度を数値化したSUV（Standardized Uptake Value）という定量値を算出することができるため、個人間での比較が可能となり、診断能が向上します。



従来のSPECT画像



新装置のCT融合画像



GE社製SPECT-CT装置　NM/CT860

［画像：GEヘルスケアジャパン株式会社提供］

看護部だより Vol.38

看護師特定行為研修 第２期生 修了式

看護師特定行為研修担当　斉藤 昌子



令和3年6月1日に開講いたしました看護師特定行為研修（以下、特定行為研修）の第2期生の修了式が令和4年1月31日に執り行われ、当院に新たに2名の特定行為研修修了生が誕生いたしました。

特定行為を実践するためには、実践的な理解力、思考力および判断力のほか、高度な専門的知識と技術が必要となります。これらを習得するために、本研修では、医学的視点に基づく思考過程および特定行為の実践力を8カ月間かけて養います。

特定行為を実践するという判断に至るまでには、問診、身体診察、臨床推論、アセスメントといったプロセスを経ていきます。このプロセスを辿るために、医学的視点に基づく思考過程を学びます。看護師として馴染みのない思考過程を構築していくことは、修了生にとって容易なことではなかったと思いますが、各部門の皆さまから日々丁寧にご指導いただくことで、修了生は徐々に思考過程を構築していくことができました。

この「思考過程の活用」こそが、「特定行為の実践」そのものよりも重要であると考えます。思考過程と看護を統合することで、患者さんの状態に見通しを立て、より患者さんに適した看護を提供できる可能性があります。一方で、特定行為の実践能力は看護師の育成に寄与し、当院の看護の質向上への期待をもつことができます。特定看護師は、未だ十分に認知されておりませんが、今後さらに活躍の場が広がっていくことを願っています。

現在、修了生が活動するための環境づくりに着手しています。修了生の活動へのご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

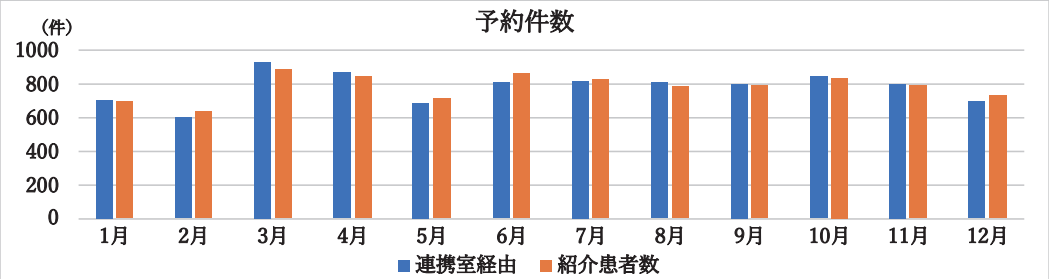
本研修にご協力いただきました患者さんとご家族の皆さまに、心より深く感謝申し上げます。また、ご支援いただきました院内の全ての皆さまに重ねて感謝申し上げます。



医療相談支援センターからのお知らせ

2021年1月から12月の実績報告

日々のご紹介ありがとうございます。COVID－19の対応に関しましても各関連機関の方々にご協力をいただいており感謝申し上げます。2021年のご紹介状況を報告させていただきます。



◆紹介元病院所属医師会別

医師会	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	(%)
大村市医師会	380	320	490	485	361	420	427	390	420	460	422	338	4,913	55.5%
諫早医師会	141	110	163	147	109	149	157	173	153	152	165	161	1,780	20.1%
南高医師会	33	31	58	33	36	42	49	37	47	45	40	24	475	5.4%
島原市医師会	51	43	80	66	58	53	53	63	54	66	63	53	703	7.9%
東彼杵郡医師会	17	16	24	19	19	29	25	33	21	16	15	18	252	2.8%
その他	42	46	64	75	64	70	59	68	65	61	52	67	733	8.3%
計	664	566	879	825	647	763	770	764	760	800	757	661	8,856	100.0%

◆紹介先診療科別

診療科		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
内科	消化管内科	26	15	44	35	26	33	27	34	27	41	35	26	369
	肝臓内科	32	19	45	47	24	43	40	40	32	45	33	23	423
	呼吸器科	23	21	39	33	22	37	39	38	28	34	25	23	362
	総合診療科	47	27	45	32	39	55	50	45	36	50	44	36	506
	循環器科	33	23	31	42	30	36	34	22	25	36	28	32	372
	神経内科	13	8	14	12	15	10	16	17	15	15	19	12	166
	血液内科	11	10	10	4	12	8	9	15	11	9	12	11	122
	内分泌代謝科	14	17	14	24	30	25	11	14	19	20	18	20	226
	腎臓内科	7	4	19	14	11	9	11	12	11	13	11	12	134
	リウマチ科	9	7	3	11	4	9	13	3	4	4	3	4	74
	計	215	151	264	254	213	265	250	240	208	267	228	199	2754
眼科		64	62	90	74	63	65	58	74	65	78	74	70	837
産婦人科		63	61	91	80	61	68	62	57	56	56	58	70	783
耳鼻咽喉科		36	33	65	59	48	45	40	58	48	44	45	51	572
外科		38	37	48	16	16	12	13	19	15	17	15	11	257
乳腺・内分泌外科					11	18	26	22	26	23	19	22	13	180
呼吸器外科		2	4	4	6	4	4	1	3	6	3	2	5	44
皮膚科		14	24	29	24	21	19	31	23	30	39	24	22	300
精神科		1	4	3	5	6	9	4	3	5	5	8	4	57
脳神経外科		8	12	18	23	16	21	22	18	17	14	10	17	196
整形外科		11	8	11	18	9	24	18	19	23	22	22	18	203
泌尿器科		29	27	36	32	28	18	29	41	30	27	37	31	365
小児科		39	24	26	28	23	34	41	29	30	29	34	26	363
形成外科		29	30	40	37	26	28	38	28	36	30	20	26	368
心臓血管外科		9	7	7	3	6	12	7	8	8	14	10	5	96
放射線科		1	1	1	1	1	2	2	2	2	0	1	1	15
公開検査		105	81	146	154	88	111	132	116	158	136	147	92	1466

理　念

高い水準の知識と技術を培い
さわやかな笑顔と真心で
患者さん一人一人の人格を尊重し
高度医療の提供をめざす

長崎医療センターの使命

長崎医療センターは以下の活動を誠実に行い、地域拠点病院として住民の皆さんと医療機関からの信頼を得ることを使命としています。

- 安全で質の高い医療を提供する
- 絶対に断らない救急医療の最後の砦となる気概を持つ
- 地域の医療機関、行政と密接に連携する
- すべての医療人と学生に魅力的な教育研修を提供する
- 臨床研究を推進し、国際医療協力に貢献する